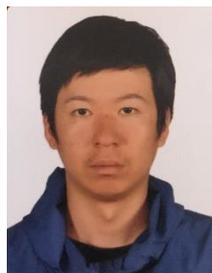


藤井 直人さん (鳥取県倉吉市出身)  
2016 年度 2 次隊 青年海外協力隊  
派遣国：ウガンダ 職種：コミュニティ開発  
2018 年 2 月 25 日 (日) 中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

## 稲作普及へ 農家と学ぶ

ウガンダと聞いて、あなたはどんなイメージを持つだろう。「暑い、貧しい、何も無い」といった少しネガティブなイメージが先行するのではないだろうか。

しかしウガンダは第 2 次世界大戦時、イギリスの宰相ウィンストン・チャーチルが訪れ、あまりの自然の美しさ

に「アフリカの真珠」と名づけたほど、緑豊かな国だ。またアフリカの他国と比較して穏やかな気候を有し、農業に適した環境を持っている。

私はこの国で 2016 年 9 月から、コミュニティ開発隊員として国際協力機構(JICA)の技術協力プロジェクトの一つであるコメ振興プロジェクトと協力しながら、ウガンダ北西部のホイマ県で稲作の普及に取り組んでいる。

農業に携わる隊員としてウガンダに来ているわけだが、決して農業の知識が豊富というわけではない。現地の農家たちと共に働き、日々教えられ、学ぶ毎日である。そんな中で感じるのは現地の人と同じ目線に立ち、仕事をするということの大切さである。

農家たちと同じ言葉話し、同じ食べ物を食べ、同じ時間の中で働く。こうした行動の一つ一つによって農家から信頼を得ることを学んだ。

ウガンダに来て、1 年 3 カ月が経過したが、正直 2 年という短い任期の中で「ウガンダに変化を起こす」なんて簡単ではないと思うことばかりだ。少しずつしか進まないが、それでもここで何かいい変化をもたらせることを信じ、活動を続けている。



稲の種のまき方を農家の人に体験してもらう研修。器具を使い、一定間隔にまいていく